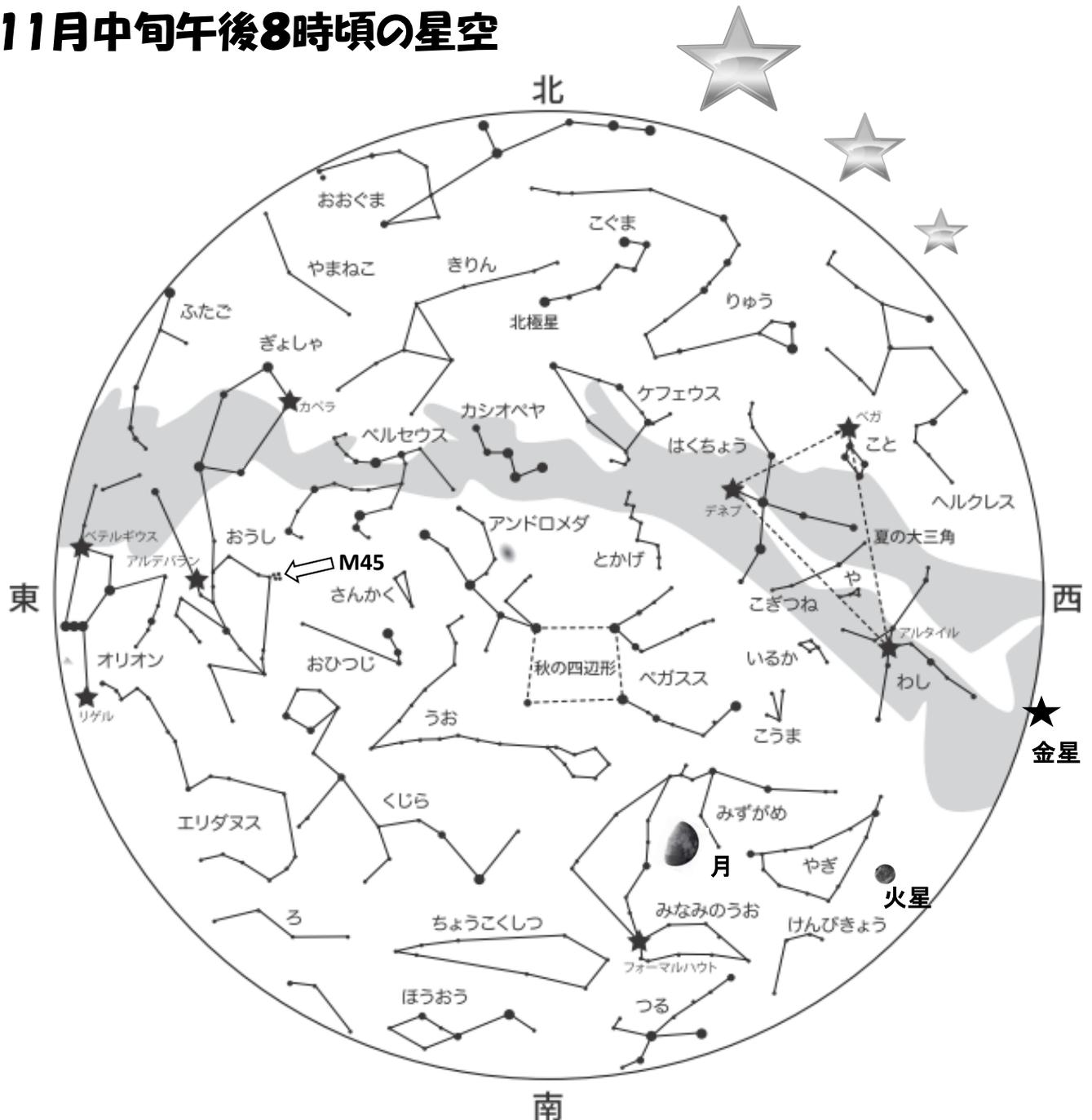


松江市立天文台～11月の天文教室～

2016年11月9日

11月中旬午後8時頃の星空



太陽が沈んだ直後、西の空に明るく輝く星は、宵の明星金星です。春から夏にかけて赤く輝いていた火星も同じく西の空で見ることができます。

夜空はすっかり秋の空となり、真上には秋の四辺形、北の空にはMの形をしたカシオペヤ座、東からは、おうし座やぎよしゃ座など姿を見せ始めています。

11月中旬午後8時頃の星空です。

月や火星、金星などの見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は、月齢9

月は地球の周りを約27日で回る衛星ですが、その軌道はわずかに楕円になっています。

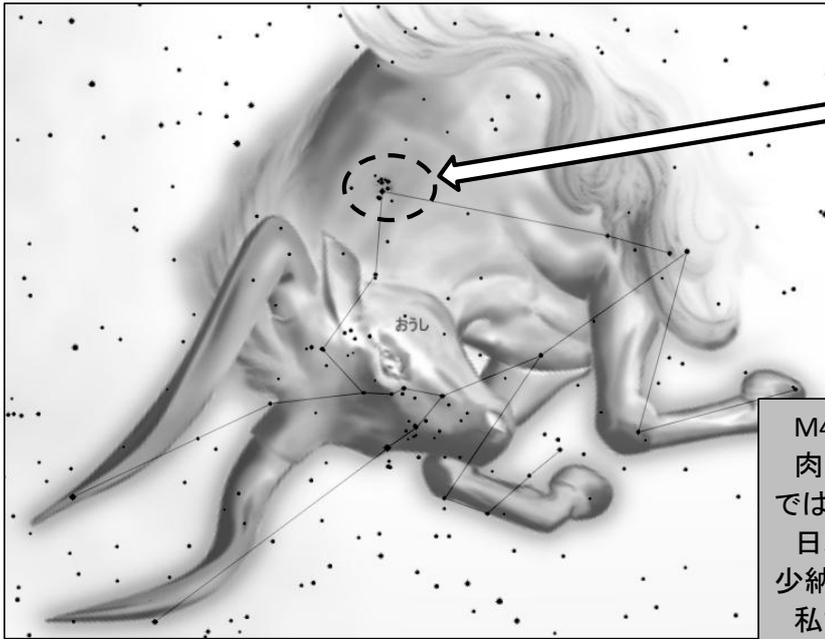
そのため、地球から見る月の大きさは、時期により変化します。

今、月はずっと地球との距離が近くなっていて、11月14日は、今年一番大きく見えるスーパームーンと呼ばれる満月になります。

14日の夜は、大きく明るい月をお楽しみください。



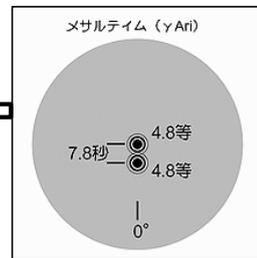
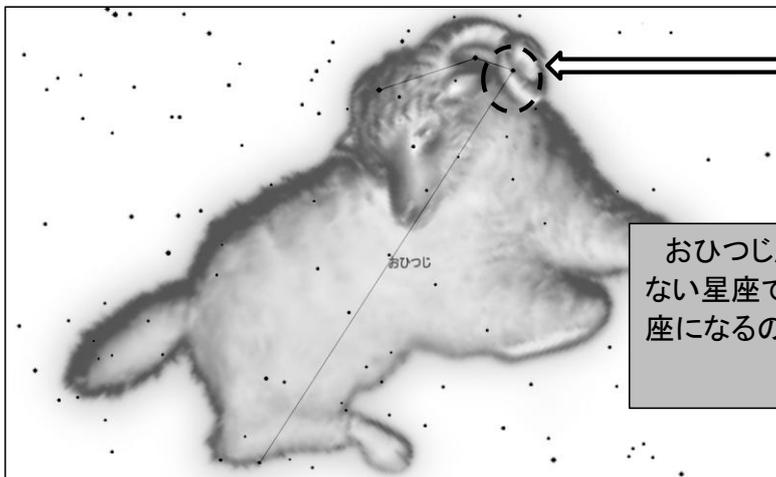
M45 (プレアデス)



M45 プレアデス星団
松江星の会 古都さん撮影

M45はおうし座にある散開星団です。肉眼でも数個の星の集まりが見え、双眼鏡では数十の星が視野に広がります。日本でも「すばる」の名で古くから知られ、清少納言の枕草子にもその名が登場します。私たちから約400光年余りの距離にあります。
※天文年鑑では距離を410光年としています。

おひつじ座γ星



おひつじ座γ(ガンマ)星を天体望遠鏡で見ると、同じ明るさの白い星が二つ並んで見える二重星です。

おひつじ座はおうし座のとなりにある目立たない星座ですが、星占いでは、一番最初の星座になるので、名前は良く知られています。

※ご注意

天体望遠鏡のしくみにより、視野の上下左右が逆に見えることがあります。また、空や大気の状態により見え方は異なりますので、ご了承ください。

